

活 動 予 定

7月

コラボ教育「地域の保健室」
看護学生が健康測定を行います
健康と生活についていっしょに考えましょう

16日(木)・28日(火)

14:00～16:00

場所：菅の台地域福祉センター

9日(木)・21日(火)

14:00～16:00

場所：竜が台地域福祉センター

上記地区周辺の方対象

予約不要

9月

ミニ健康講話

6、7月のコラボ教育「地域の保健室」の測定結果をふまえ、健康講話を行う予定です

10日(木)

場所：竜が台地域福祉センター

15日(火)

場所：菅の台地域福祉センター

8月

8日(土)・9日(日)

10:00～15:00

受付 9:30

神戸市看護大学
オープンキャンパス

COCコラボ教育の体験や
学生からのレポートもあります
受験生歓迎!

場所：神戸市看護大学
北館2階

お知らせ

学生の地域への関心が高まっています!

コラボ教育「地域の保健室」*は、今年度で2回目です。昨年度は、地域にお住まいの皆さんが延べ254名参加されました。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

上記日程以外に、6月にも「地域の保健室」を実施します。

竜が台地域福祉センターは、6月2日(火)、11日(木)、16日(火)、18日(木)の4回、菅の台地域福祉センターは、6月9日(火) 23日(火)の2回です。

*授業の一環として、須磨区北部で展開しています。

COC編集部門のつぶやき

やさしい学生が増えている。けれどもそれは、意見対立を、議論をする中で乗り越える意欲と実践経験が不足している学生が増大しているということ、なのではないか。例えば、授業で、学生にプレゼンさせる。批判的コメントがフロアから出ることほとんどない。学生のレポートに赤入れをして(匿名化後)、配布する。「一方的非難をしてはいけないと思います」という「第3者」からの「やさしさ表明」が、授業終了時回収のコメントシートに書かれてくる。そう思ったなら、授業中に発言すればよいのに……。これは、大学の危機である。せっかく対面式の授業をしても、受容的コミュニケーションばかりでは、学習効果が出ないからだ。COC事業のモットーは「地域住民と共に学び、共に創る」だが、「共に学ぶ」中身には、健全な相互批判精神の発揮ということも含まれるだろう。とするのなら、そのことは、地域の課題であると同時に、今の大学自身の課題でもあるのではないか。私の今の問題なのだ、と思っている。

(COC編集部門・YK)

発行所： 神戸市看護大学

〒651-2103 神戸市西区学園西町3丁目4番地 TEL: 078 (794) 8080

問い合わせ先: kangococ@tr.kobe-ccn.ac.jp

平成27年度 第42号-1 (広報印刷物規格 B-1類)